

2026年度大学院博士前期課程学内選考試験問題

研 究 科 名	科 目 名
文学研究科 社会学専攻	専修共通問題

以下の用語の中から4つ選び、それぞれの意味について説明しなさい。

- ① ジェンダー
- ② ユニバーサル・デザイン
- ③ 犯罪と逸脱
- ④ 支配の正当性
- ⑤ ポストモダン
- ⑥ 文化資本
- ⑦ 文化本質主義
- ⑧ ポストコロニアリズム

解答または解答例：

Answer Keys or Examples：

① ジェンダー

生物学的な性とは異なる概念であり、性別に関する社会的規範と性差を指す

ジェンダー格差について、具体例を挙げて論じることが望ましい。その際、格差に対する感覚が性別や世代、社会において差異が大きいことへの言及が必要となる。

② ユニバーサル・デザイン

障害の有無、年齢、性別、人種等などにかかわらず、多様な人々が利用しやすいようにデザインする考え方。その範囲は工業製品だけではなく、環境やサービス、社会制度なども含む広範なものである。

③ 犯罪と逸脱

逸脱とは集団や社会の規範から外れた、好ましくない行為を指す。犯罪はその社会の法律に違反している行為を指す。両者は重なる部分もあれば重ならない部分もある。法律に違反したであっても社会的な非難を受けないものもあれば、犯罪にはならなくても逸脱として社会的な制裁を受けるものもある。

④ 支配の正当性

支配の正当性とは、マックス・ウェーバーが3つの類型とした示したもので、人々が社会において正統な支配として認めるものである。支配の正当性は、一つではなくそれぞれの社会で異なる原理である。

伝統的支配、カリスマ的支配、合法的支配の三つを指す。伝統的支配は慣習や伝統への信仰に基づくものであり、カリスマ的支配は指導者の超人的資質への信奉に基づく。合法的支配は合理的に制定された法と規則に基づき、近代官僚制国家の基盤となる。これらは支配の正当性の根拠の違いを示す理論枠組みであり、近代社会の権力構造を理解する上で重要である。

⑤ ポストモダン

ポストモダニティとポストモダニズムを包摂する用語。ポストモダニティは、一つの歴史的・文化的な時代を表すために通常用いられており、その範囲に関する解釈には多様な見解が存在しているが、西洋の先進情報社会・消費社会を指す。他方、ポストモダニズムとは、特定の文化的テキストや、ポストモダニティにおける感性や条件を表す際に用いられる。ポストモダン理論においては、ジャン・フランソワ・リオタールが『ポストモダンの条件』において提示した「啓蒙思想に根差した人間の進歩や解放」といった「大きな物語」は、全体主義や科学至上主義によって信頼を失ってしまったという理論および、ジャン・ボードリヤールが『消費社会の神話と構造』などの中で提示した、モダニティにおいてはシニフィアンとシニフィエは分離していたが、メディアに依拠した消費社会においては、シニフィアンがシニフィエに対し飛躍的な増大を示し、「シュミラクル」が「現実世界」にとって代わるといった主張を展開した。このような視点がポストモダン理論のベースに存在する。

なお、スコット・ラッシュは『ポストモダニティの社会学』の中で、「ポストモダニズム」について「自らの根本的特性として『脱一分化』という特性を有するところのひとつの意味作用の体制なのである」と言及し、モダニズムが様々なものを分化してきたのに対し、ポストモダニズムが様々なものを脱分化するという点を強調している。

出典：リオタール、ジャン＝フランソワ『ポストモダンの条件』小林康夫訳、水声社、1989年。

ボードリヤール、ジャン『消費社会の神話と構造』今西仁司ほか訳、紀伊国屋書店、1995年。

ラッシュ、スコット『ポストモダニティの社会学』田中義久監訳、清水瑞久ほか訳、法政大学出版局、1997年。

⑥ 文化資本

ピエール・ブルデューが主著『ディスタンクシオン I』の中で提示した概念であり、身体的、制度的、客体的な要素によって構成される資本。

出典：ブルデュー、ピエール『ディスタンクシオン I』石井洋二郎訳、藤原書店、1990 年。

⑦ 文化本質主義

文化というカテゴリーによって区分された各集団の特性が本質的なものとみる視点。例えば、民族、ジェンダー、国民などによって区分された人間集団とそこで共有される特定の行動様式が不可分な関係にあるとする視点。

⑧ ポストコロニアリズム

植民地時代が制度的に終焉に至って以降、いまなお西洋によって植民地支配を被ってきた地域に存続する西洋による支配的影響、特に、西洋の近代が孕む文化的ヒエラルキー、普遍主義、ヨーロッパ中心主義に対する批判を共有する学問的潮流。

出題意図：

Intent of Questions：

社会学における基本的概念に関する理解度を測ることを目的としている。